

# ちづ 智頭 議会 だより



町の花  
どうだんつじ

鳥取県智頭町議会

第162号

発行：令和5年4月18日

智頭の思い出シリーズ51



昭和初期のバス

## ☆ 5月! 議会報告会のお知らせ ...P2~

令和5年1月 第1回臨時会

☆ 3月定例会 補正予算 専決 ...P3

☆ 令和5年 当初予算を可決!! ...P4~

☆ 7人の議員が一般質問に登壇 ...P8

☆ 広報モニターさんの声 ...P14

☆ 町民の声(富沢地区) ...P16

昭和6年から運行された路線バスは、平成19年から町が運行するすぎっ子バスに移行しました。

バスは本年4月よりスクールバスとして共用し、町内全域をカバーする共助交通として交通システムがスタート!しました。

特に路線外であった集落などの利便性の向上が期待されます。

主な補正予算

▲ 増額

除雪委託料

1月末警報級の降雪が続いたことによる、大幅な除雪作業委託料などの増。



増額 2,987万6千円  
総額 5,620万3千円

▼ 減額

まちづくり推進費

地域経済循環創造事業・まちづくり支援事業補助金などの減。



減額 3,971万9千円  
総額 3億4,402万3千円

林道施設災害復旧費

台風14号により被災した、林道2路線の復旧にかかる工事請負費などの増。

増額 645万3千円  
総額 945万3千円

地域活性化推進費

コロナ禍で、みんなで支え合う地域づくり・コミュニティ助成事業の縮小などの減。

減額 564万1千円  
総額 15,529万4千円

道路新設改良費

実績に伴う事業費調整及び交付金追加配布に伴う工事請負費などの増。



増額 998万7千円  
総額 3億330万4千円

税務総務費

地方税共通納税システム導入委託料の延期などの減。

減額 900万4千円  
総額 5,464万1千円

決算見込みに基づき人件費の調整・コロナ禍の事業中止・縮小などの調整により、減額補正2億3,137万6千円

人件費減額 4,524万円  
事務費減額 1億8,613万6千円

他、特別会計補正予算10議案を先議案件として議決しました。

特別会計補正予算10議案の減額合計 5,486万1千円  
一般会計補正後の予算総額 67億2,183万円

第1回 臨時会



智頭温水プール  
空調工事

7,480万円

議案第1号

契約者

株式会社谷口工務店

指名競争入札2社

議員

工事の内容はどのようなものか。

課長

プール天井に設置していた、空調設備のダクトの一部部品が経年劣化により落下し、利用者の安全安心を確保するため、ダクトの設置場所を、壁面に取り付けるための工事。

議員

いつ工事が終わるのか。

課長

部品調達の遅れにより、7月ごろまで開場が延期。

議会報告会を5月に行います

今年も行います!

集落説明会は、この後随時行っていく予定です。

- 8日(月) 山形地区、土師地区
  - 9日(火) 那岐地区、山郷地区
  - 10日(水) 智頭地区、富沢地区
- いずれも午後6時30分からの開催予定です。  
後日、改めて告知端末でお知らせします。

皆様のご参加をお待ちしています!



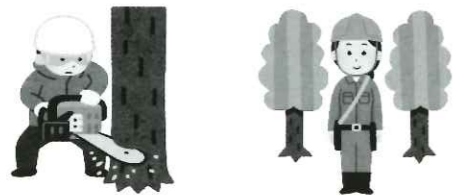
毛谷集落



穂見集落

# I 森の恵みを生かしたまちづくり

## 林業人材活用事業



780万円

林業マルチワーカーの雇用支援

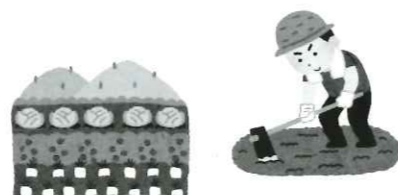
## 森林資源利用推進事業

智頭材出荷促進支援ほか



4,506万9千円

## 農業振興業務委託料



445万円

議員。

どこの地区(集落)を選定されているのか。

課長。

集落支援員を(一社)山郷地区振興協議会に配置し、広域的な農業振興のモデルケースを目ざす。

# II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり

## 子ども家庭福祉事業



676万7千円

児童福祉分野と母子保健分野を一体的に実施する「こども家庭センター」を設置し、子どもに係る必要な相談支援体制整備に取り組む。

## 旧あたご保育園解体工事調査設計委託料

議員。

近隣住民には、事前に説明を行うのか。

課長。

関係町内会他へ説明する。

議員。

アスベストが含まれている可能性があると思われるので、近隣住民への安全を十分配慮して調査をして欲しい。

課長。

アスベスト事前調査を行う。



1,055万8千円

## 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業



1,236万2千円

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により、後期高齢者の健康増進、生活の質の向上をはかる。

## 共助交通運行事業



5,424万6千円

～ 町長提案理由より ～

令和5年度4月より共助交通を本格的に運行します。民間交通事業者の運転手確保が難しいこと、財政負担に鑑みて、本町において持続性の高い公共交通を検討した結果、共助交通を実施することとしました。

これまで3回の実証実験を実施し、本格運行となります。今までの交通体系が大きく変化することがあるかと思いますが、人口減少、少子高齢化が進む中、持続性のある移動手段確保のため、また、全国中山間地域のモデルとなるよう、随時検証見直しを積み重ねながらより良い運行体制の構築に努めてまいります。

## スクールバス運行管理事業



7,889万4千円

小学校、中学校及び保育園に通う児童生徒園児の利便性向上と安全確保を図る。

# 3月 定例会

# 令和5年度 当初予算を可決

3月定例会(3月8日から22日)で、令和5年度当初予算と補正予算案、条例案など町長提出の44議案、議員提出の1議案を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計	特別会計	公営企業会計
6億800万円	1億885万円	2億437万円

# Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり

## 小学校体育館に空調設備を設置



1,767万6千円

## 高校生通学費補助



773万4千円

### 町独自の子育て支援策

高校生通学費補助条件を、月額7千円以上の部分の補助をしていたが、令和5年度から、月額3千円以上の部分を補助する。

## 発掘調査委託料



### 議員。

場所はどの辺りになるのか。

### 課長。

坂原地内の砂防堰堤工事予定地内。

4,829万円

# Ⅳ 地域のつながりと家族のつながりでつくるまちづくり

## 那岐山展望台 工事請負費

1,450万9千円



## 定住促進賃貸住宅 の新築



9,640万円

定住対策に力を入れていくため、ゆめが丘に3棟を新たに整備し、住居の確保に努める。

### 議員。

3棟のデザイン等については、画一的なものにするのか。

課長。そうである。

## 定住促進対策事業費 補助金

800万円

若者世代の定住を促進するために本町で住宅を購入・改修または、新築に必要な経費を助成する。(ただし、町内の業者で改修などを行う場合に限る。)

## 陳情の審査結果

件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之	趣旨採択

## 条例の改正・一部改正

- 智頭町個人情報保護法施行条例の制定  
22257
- 智頭町スクールバスの管理及び運行に関する条例の制定について
- 智頭町有林に関する条例を改正する条例  
22257
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
22257
- 智頭町公の施設における指定管理者の指定の手続き等に関する条例の一部改正  
22257
- 智頭町国民健康保険条例の一部改正  
22257
- 智頭町児童福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 智頭町旧小学校施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

## 人事案件

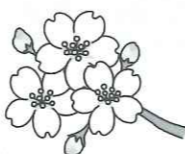
◎ 人権擁護委員の推薦につき意見を求める  
22257 (藤原 一彦氏)

## ◎ 智頭町教育委員会教育長の任命について(田中 靖氏)

おまち

## その他の議案

- 個人情報の保護に関する法律に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について
- 公の施設における指定管理者の指定について(旧那岐小学校)  
他7議案
- 字の区域の変更について  
(八河谷・大屋)2議案



## 発議第1号

智頭町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

### 提案理由

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律(令和3年法律第37号)による個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)の改正に伴い、議会における個人情報保護に関する制度について新たに条例を制定する必要があることから、本条例案を提案するものとする。

## 反対 討論

激変緩和策が必要である

■ 大河原 昭洋

令和5年度  
智頭町  
一般会計予算  
22257

収支比較によると、「すぎっ子バス」から共助交通への変更は財政圧縮できないどころか赤字幅が拡大する。

まずは集落説明会から出た意見や実証実験で見えてきた課題、問題点を慎重に精査し、改善してからスタートすることが重要と考える。町民もまだ理解が深まっていない不安を抱えている状況で始めることは、町が混乱するのではないかと危惧する。特にお年寄りや急激な変化への対応ができない人も多くいるので、その激変緩和策としてワンボックスカーによる定時定路線型との併用運行も必要だと半年以上も前から提案していた。

**問** 町長 第一義と考えている。コスト削減にならない

**答** 町長 継続して高校生利用状況調査に努め、運行時間の見直しも検討する。

**問** 住民ドライバーの確保ができない主な要因は、人の命を預かるという不安と抵抗感があるということだ。

**答** 町長 財政への影響も平準化させ、交通の利便性向上を目ざしている。

**問** 最終の実証実験や集落説明会からの期間が短すぎる。強引に進めると混乱が起きる、1年の延期が必要だ。

**答** 町長 不安があるから延ばすでは前に進めない。意見としては聞くが4月から始める。



大河原 昭洋

共助交通

町民から不安の「声」  
町長／前に一歩進むことが必要



町内全域で行われた実証実験

7人の議員が一般質問に臨みました!!

議員名 / 質問内容	議員名 / 質問内容
<b>宮本 行雄</b> 1. 職員の人材育成について 2. 子育てしやすいまちから人口増加へ 3. こども家庭庁の創設について	<b>波多 恵理子</b> 1. ごみ減量化の取り組みについて
<b>大河原 昭洋</b> 1. 共助交通の導入について	<b>西尾 寿樹</b> 1. 子どもを育てる環境・対策について 2. 冬期の停電対策について
<b>岡田 光弘</b> 1. 安心安全なまちづくりについて 2. 住民満足度向上推進について	<b>谷口 翔馬</b> 1. 若者定住対策について 2. ふるさと納税について 3. 住民の買い物環境について
<b>※一般質問の録画をスマートフォンや自宅のパソコン・IP電話で見ることができます!</b>	<b>仲井 莖</b> 1. 情報格差について 2. 智頭町の男女共同参画について

■スマートフォン・パソコンを使って検索



QRコード読み取り



智頭町議会録画放送

検索

■IP電話で視聴

①ホーム画面→②次のページ→③智頭町議会上記の順番でタッチして下さい。「智頭町議会録画放送」の画面が表示されます。

一般質問

**問** 関係機関の情報共有、住民への周知は適切だった



道路わきの通信線への倒木の様子

**答** 町長 住民の日常生活に大きな影響があったと認識する。特に倒木対策について、今回の事案を受けて新たな対応を検討する。優先順位については、生活道路として利用される路線を優先する。

**問** 倒木が想定される個所での予防伐採を森林経営計画などを活用し、推進できないか。

**答** 町長 情報共有は図ってきたが、倒木対策や除雪についての課題も見つかった。危険個所の把握、山林所有者の調査、事前対応の勧奨・支援、林業事業者との緊急伐採の支援協定を検討していく。出来ることを出来る方法で進めていくことが重要。



岡田 光弘

安心なまちづくり  
冬季の道路上への倒木対策は町長／国県と連携して対策を進めていく

**問** 第7次総合計画では、町民と行政が協働し持続可能な智頭町を共につくっていくことが大きな目標である。とあるが、町民と行政の信頼関係が一番大切だと思う。

**答** 町長 皆さんの意見を傾聴して、町民一人ひとりに寄り添い、皆さんと良い関係を築くことができる職員となるように望む。全体の奉仕者の思いで職員も対応する。よりよい接遇ができるよう職員育成をする。

**問** 国において、こども家庭庁が創設される。全ての児童のための施策等が考えられている。本町の、こども家庭庁の成育部門の業務内容の実施について問う。

**答** 町長 本町では、現在行っている児童福祉を中心とした子ども家庭総合支援拠点事業と母子保健を中心とした子育て世代包括支援センターを一体的に行い、こども家庭センターとして実施を考えている。



宮本 行雄

行政職員・こども家庭庁  
町民と行政の協働を問う  
町長／職員を育成していく



役場庁舎



波多 恵理子

ごみの減量化

可燃ごみ減量化対策は

町長／普及啓発を継続していく

問 智頭町における可燃ごみ減量化対策の現状と課題について。

答 町長 分別収集の浸透や人口減少によりゴミの排出量は年々減少傾向にある。しかし、再利用できる古紙、汚れていない容器包装プラスチックなどの分別収集によるごみの更なる減量化に向け、普及啓発を継続していくことが必要と考える。



答 町長 財政負担が大きいく断念した経緯がある。取り組みの効果について再度検証していきたいと考える。

問 百人委員会のぐるぐる循環部会が生ごみから堆肥を作る企画を提案し、予算化され令和4年度より活動が始まったがこの活動についてどう思うか。

答 町長 町として持続可能な社会を目指すSDGSの取り組みの一環としても支援して行きたいと考える。



谷口 翔馬

買い物環境

今後の買い物環境の変化は

町長／買い物難民を出さない

問 長年、住民の買い物環境を支えてきた企業が今年撤退の方向性を示したことにより、住民の買い物環境の変化が起こることが予測される。町長が考える今後の住民への対応や取り組みは。

問 町民の今後の買い物環境の変化の不安は、早く次の運営体制を、お示しすることで払拭されるものだと考えるが、町長の考えは。

答 町長 今の店舗の機能が、そのまま残るのであれば、町民の方の不安は、なくなるのではと思う。なので、今できる政策、補助事業を念頭に置いて知事に要望している。



その他、若者定住やふるさと納税強化について質問した。

答 町長 町内のスーパー撤退報道がなされて、町民の皆さんが不安になっていることを認識し、1市4町で、知事に対して県としても協力してもらおうよう要望を行った。買い物難民が出ないようという思いを持って、何とか対処したい。また、現行のものをそのまま残してもらえればという強い思いを持って申入れをしている。



西尾 寿樹

停電対策

冬季の長期停電対策

町長／県・電気、通信事業者と連携を密に対処していく

問 冬季の豪雪による長期停電を、町としての現状認識と対策についてどう考えているのか。

答 町長 停電が発生した場合、電気事業者からの情報を速やかに提供し、早期に復旧できるように、町と県・電気、通信事業者と横のつながりを持ち、連携を密にすることが肝要と考えている。



非常用発電機

問 6か所ある各地区の避難所には非常用発電機が常備されていると聞く。大雪による倒木被害のために停電が発生した時や、避難所まで移動できずに孤立集落となりそうな村の公民館に住民からの要望があれば、

答 町長 要望がないか、各集落への打診はしている。大雪だけでなく大雨とか地震で災害が発生した場合に備えて、必要な物資を各家庭で備蓄していただくことや、自助・共助を第一義に考え、集落を守るためには何が必要かを話し合い、行政に要請してもらえば、町として応える用意は十分にある。それが公助だと思っている。

非常用発電機の貸与を検討する考えはないか。



仲井 莖

男女共同参画

第5次参画プランの今後の取組は

町長／意見を聴き、啓発活動に取組む

問 急激な社会情勢に対応していくために、男女共同参画社会基本法が制定された。本町においても第4次男女共同参画プランが策定されているが、これまでの取組の成果と課題は。

までの成果を踏まえて今後どのような取組を行っていくのか。

答 町長 あらゆる機会を通じて町民の皆様からの意見を聴き、取入れながら啓発活動に取り組んでいく。

新たな取組としては、性的少数者、セクシャルマイノリティの人権についても、理解を深める必要があり、プランに盛り込んでいく。



その他、情報の格差についての質問をした。

問 第5次男女共同参画プランの策定に当たって、今

# 人口減少対策に向け、若者定住視察へ

(島根県邑南町・美郷町)

■邑南町 / 12月19日

邑南町の令和4年11月末現在の人口は、9,988人である。高齢化率は45・2%で急速な少子高齢化と人口減少が進行したことで、町は存続に危機感を抱き、攻めの「A級グルメ構想」と守りの「日本一の子育て村構想」プロジェクトを平成23年にスタートさせた。

「日本一の子育て村構想」では、子どもたちの育ちの支援や親の子育ての不安に対応する子育て世帯の定住環境づくりを目ざし、「地域で子育て」をキーワードに各事業が展開されている。施策としては0歳から中学校卒業まで医療費無料、保育料が第2子以降完全無料、完全給食制、24時間救急受付などの子育て支援が行われている。

本町が行っている一つ一つの子育て支援策を対比すれば、施策によっては手厚い部分もあり、総体的に劣っているとは思わないが、「日本一」のキャッチコピーは大きな意識付けと行政の課題に対する

る覚悟を感じた。本町でも、人口減少に歯止めがかからず、これまでの対策に結果が伴っていないことから、より一層の分析と研究が必要である。

■美郷町 / 12月20日

美郷町の人口は令和4年11月末現在で4,231人、高齢化率は47・55%であり、総面積の90%を山林が占める山間地である。人口減少と少子高齢化が著しく進行していることから、若者定住の各種施策と手厚い子育て支援に積極的に取り組んでいる。また、本町が令和3年度に整備したIP告知端末と同機種が導入されており、その利用率向上に向けた取り組みなども合わせて



邑南町役場にて

調査することとした。住む場所の確保として、若者定住住宅を平成19年から現在までの16年間で10団地53棟整備し、241人の入居者がある。これまで一定の成果は出ていたが、近年は近隣市町村でも同様の施策が進んだことや、住宅にも価値観の多様化が求められるようになり、次の一手として、美郷町の自然環境を活かした「サステナブルハウス」の整備を予定である。

また、「美郷町定住ポイント制度」は転入、就職、結婚、誕生に合わせて、Payカードにポイント(1ポイント=1円)が付与される仕組みがあり、町内のみの協賛店で使えるようになっていく。

本町でも住む場所の確保は大きな課題であり、住宅を建てれば人は来てくれると思っていたが、その時代に合ったニーズを的確に捉えることが必要になってきていると感じた。

邑南町や美郷町の定住対策に対する熱意が伝わり、事業を実施したら終わりでなく、最後までやり遂げるPDCAサイクルを強化していくことで、定住に結びつくものだと思ふ。

副委員長:仲井 委員:西尾、宮本、大河原、谷口雅

# 林業振興、バイオ燃料への循環目ざす取組

11月9日 大分県日田市における林業振興の取組

日田市は森林率も約83%と高く、大分を代表する江戸時代から続く林業地であり地域産業として原木市場7市場、製材所58社、関連従業員数720人、林業所得約26億円と現在でもそのウエイトは高く、重要な産業となっている。

国内最大規模の木質専用燃料発電所を稼働させている施設があり、現在までの委員会の推進事業としての木質バイオマス燃料などに使用する木質チップ材料などの活用を研究する目的として、今回の民生常任委員会では、日田市の林業の取組、とりわけ、木質バイオマス燃料などの活用を含む日田市の林業振興の取組について「新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン」を基に説明を受けた。智頭町と日田市では寒暖差・山の傾斜・動物等色々な違いや、問題点はあるが、森林環境譲与税や保全税などについても新たな森林管理システムを考えるうえで参考になり、スキルアップにつながる視察研修であった。



日田市役所にて

11月10日 食廃油から高純度バイオディーゼル燃料への循環目ざす取組

この企業は使用済食用油を環境負荷の少ない良質なバイオディーゼル燃料「REESEL」リーゼルとして再生する事業を展開している。食用油の回収方法は家庭や会社を回り回収、また肥後銀行が県内全域店舗ロビーを「回収スポット」として地域の脱炭素社会の実現に向け、

『わくわく油田プロジェクト』を展開している。

特徴は「超高純度のバイオディーゼル燃料」を生産していることで、その品質は国内では最高基準、世界でも3番目のこと。特に品質にこだわったことにより、阿蘇くまもと空港ではB30燃料(バイオディーゼル燃料30%)、長崎空港ではB100燃料(バイオディーゼル燃料100%)の実証実験が行われており、燃料単価が少々高くても地球温暖化防止に有効なエコな燃料であるという、優位性が企業の社会的貢献やイメージ向上が優先される場面では有効なのではないかと感じられた。

今回の視察では、今後は環境に配慮した循環型エネルギー資源へ取り組んでいくことの必要性を強く感じた。



熊本市役所にて

副委員長:田中 委員:岡田、波多、河村

議会だより161号に関する  
議会広報モニターからの  
ご意見を紹介 (町民17名)

全体の構成(見やすさ・記事量)は、『よい』が14名、『普通』が3名でした。

編集改善に関する意見

・若者・学生たちが見てくれる広報誌であってほしい。(表紙に限らず、若者にも伝わりやすい内容・表現など)

わかりにくい言葉など  
説明が必要な内容に関する意見

・3ページについて  
特別職とは、どのような役職の人ですか。

地方公務員の特別職とは、就任に選挙による選出や議会の同意が必要とされている職にある人で、ここでは町長、副町長、議員などが該当します。他にも智頭病院事業管理者や民生委員、人権擁護委員・監査委員なども特別職になります。



●10ページについて  
来春導入予定の公共デマンドタクシーの活用とありますが、既に行われている「シルバー人材センターの移送サービス」と「共助交通」はどのような違いがあるか。



共助交通とは地域の人が地域の交通を支えるものであり、自家用車による運行です。自家用有償旅客運送は、過疎地域などでバスやタクシーなどの公共交通機関がなく、移動が困難な場合、NPOなどが自家用車を使って有償で輸送できる制度です。このたびの共助交通(AI乗合タクシーのりりん)もシルバー人材センターが運行している事業もこの制度を活用するものです。利用者はシルバー人材センターに登録し会員になりますが、AIタクシー「のりりん」は事前登録をいただければ誰でも乗車可能になります。

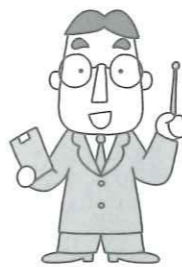
●13ページについて  
「圃場整備」とは

農地の区画整備、農道の整備、用排水路等水利を一挙に整備するものです。田を大きな区画にして用水をライン化し、広い農道を作ることにより大型機械の利用と容易な農業用水の管理が可能となり、農業生産性の向上を図ることが出来る事業です。

町政や議会活動全般に関する意見

●6ページについて  
「行政評価」総合評価10/12について

総合評価欄の10/12という表記が議員の12名中10名が評価したという意味かと指摘を受けましたが、正しくは12点満点中10点の評価であったという意味です。今後は、より分かりやすい表現に努めてまいります。



1月17日  
2月20日  
3月14日

月例民生常任委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 美作岡山道路北部の岡山県側は進んでいるが、鳥取県側は現実的には難しいと思える。現状としては今のルートで推進されるか。

A 美作から勝央町の先、R53のバイパス化は出てきているので、R53を通ってもらわないと本町にメリットはない。今後の協議だと思う。

Q 芦津集落以外でも森林施行プランナーの役割を果たしていただけるか。

A 集落型自伐林業としての土台、他にも波及できればと、前回は下町においてMANABIYAや若い方と行っていたが、今回は芦津集落に居着いてもらい文化の伝承も行っていく。

Q 病院の面会ボックスの使用状況はどうか。

A アクリル版越しだが全体が見えるので満足度は高まったと思う。

1月17日  
2月21日  
3月15日

月例総務常任委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。

主な質疑

Q 郵便局でマイナンバーカード申請ができるようになったが、どこで受け取れるか。

A 役場での受け取りになる。

Q 国全体の問題だが雪が降れば立ち往生が発生している状況、県を通じて今後の対策が必要ではないか。

A 国・県が管理する道路もあり、協力体制を行いながら計画を立てているが、今後の課題はある。近隣県国交省会議等で要望を伝えていく。

Q 智頭温泉プールが資材不足による工事延長になるが、いつ完成予定か。

A 7月頃完成予定である。

Q 共助交通の実証実験を通して見つかった問題は。

A 一番大きな問題は、ドライバーの負担が大きいことであつたので、今後の検討材料になった。

同和問題調査特別委員会の報告

■報告者：大河原昭洋委員長  
副委員長：宮本 委員：全議員

『人権同和研修会』  
部落差別・人権問題を学ぶ

■研修日 令和5年2月9日(木)

■場所 委員会室

■演題 「部落差別の解消と

人権の確立をめざして」

■講師 坂根 政代氏

(部落解放同盟鳥取県連合会副委員長)

■参加者 全議員

■概要

最近ではインターネットなどで、顔の見えない情報空間での出来事が大きな差別事象として問題となつていることなど分かりやすく解説していただいた。

差別根絶に責任ある立場にある議会として、コロナ禍で停滞気味であつた活動を今後活性化していく必要性を感じた。





# 智頭町だからこそ

伊勢 紀さん(富沢地区)

ここ波多集落に住み始めてから4回目の春を迎えました。

兵庫県の宝塚市出身で、宝塚歌劇の大劇場のすぐ隣で育ちました。東京、神奈川、京都、宮崎に暮らし、2017年から鳥取を拠点として生活しています。

仕事は、位置情報データを扱う、いわゆるIT系です。身近な例をあげると、どこで交通事故が起こりやすいか、どこに野生動物(シカやイノシシ)が出没しそうかといったことを予測するための計算をしています。会社は東京ですが、通常は、空気の綺麗な波多からリモートで働いています。インターネットがつかない場合は場所が問わない仕事ですが、光回線が山の上までひかれている智頭町だからこそその働き方です。

へとへと  
鳥取に来た当初は鳥取駅

前のマンションに住んでいましたが、山菜料理をい

だきに伺ったみたき園で、その日からお手伝いをする  
ことになりました。これまで仕事といえどデスク作業しかしてこなかった私をこ

く自然に迎えてくれ、芦津の知恵と山のめぐみに結びついた暮らしを学ぶことができました。繁忙期にスポットで入るだけですが、掃き掃除から配膳、片付け、と一日動くへとへとで、ずっと年上のお姉さま方が毎日元気に働かれているのに驚き、またなるべく自分の体をつかって生活する大切さを知ったことで、智頭に住みたいと考えるようになりました。

## 仲間もでき

家探しでは空き家バンクを利用しましたが、担当の方は物件紹介だけでなく、丁寧にオーナーの方や集落の方にまでつないでくれ移

住後の生活を想像することができたのも大変助かりました。移住後は、その担当者の方を含め、智頭で様々な新しいことに挑戦する同世代の仲間もでき、とても楽しく暮らしています。



自宅と畑

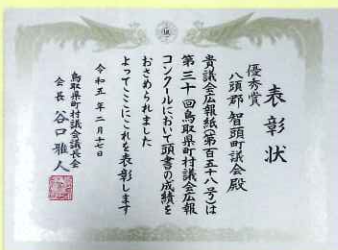


貸していただいた田んぼで初めての米作り

## 編集後記

議会だより158号が令和4年度議会広報コンクールにおいて県下15町村中第2位にあたる優秀賞を受賞しました。これまでの受賞の中で最高位です。今後とも委員一同より読みやすく、親しみやすい編集にとめてまいります。

(谷口雅)



編集 広報広聴常任委員会

委員長 西尾 寿樹

以下議員全員

発行責任者 議長 谷口 雅人